

# 令和5年度東部地区学力向上推進協議会 (研修会)



令和5年6月1日(木) 春日部地方庁舎

令和5年6月1日(木)に、春日部地方庁舎大会議室において、第1回東部地区学力向上推進協議会(研修会)を開催しました。学力向上に係る研究委嘱校の校長及び研究推進者、各市町教育委員会学力向上推進担当者、東部教育事務所担当者等が参加しました。

研究委嘱を受けた各市町教育委員会、各学校が研究計画について発表した後、3つのグループに分かれて協議を行いました。また、県教育局市町村支援部義務教育指導課主任指導主事より、指導助言及び県からの情報提供を行いました。

## 1 目的

児童生徒の学力向上に資するため、各研究校及び関係各市町教育委員会の研究内容等について検討・情報交換を行うとともに、研究成果の普及を図る。

## 2 主な協議内容

学力向上に係る研究委嘱校を交え、次の視点で協議を行った。

- ①研究校の研究推進に対する支援(研究に関連した効果的な取組事例等)
- ②研究校の質問事項に対する情報提供・意見交換

## 「学力向上研究校指定事業」

### ◆Aグループ

#### 研究の具体的な内容について

授業における「振り返り」の充実と家庭学習の取組改善を行っていく。振り返りについては、まとめと明確に区別して行うとともに、振り返りの意義を生徒自身が理解した上で行う。また、自らの学びを振り返り、学ぶ前と学んだ後の変容を生徒自身が実感できるようにしていく。そうすることで学ぶ意欲を高め、主体的な学びにつながっていくようにする。



## 「『未来を生き抜く人財育成』学力保障スクラム事業」

### ◆Bグループ

#### 研究計画立案について

加配教員が様々な学級に入り、授業を行うことで、加配教員の良い授業実践を学校全体に広げていく。また、学年会の時間を多く設け、指導内容や指導方法等について協議し、教員の授業力向上を図る。

#### 研究の具体的内容について

粘り強さ（プランニング方略）に課題がある。特に文章題などを読んでも理解できない児童が多く、あきらめてしまうことが多い。児童が粘り強く取り組むための具体的な手立てを考えて実践していく必要がある。



### ◆Cグループ

#### 研究計画立案について

今年度で加配教員の配置が終了することを踏まえ、持続可能な取組を考えていく必要がある。共通して授業等で活用できるものを作成し、学校として保存していく。

#### 研究の具体的内容について

国語でチームティーチングを行っている。チームティーチングでは、低位児童への指導や解決の糸口を示すなど、個別最適な学びにつながるようにしていく。



※各グループの内容については、発表資料・グループ協議・指導講評から記述しています。

## 指導講評及び県からの情報提供

### 【講師】

県教育局市町村支援部 義務教育指導課  
学力向上推進・学力調査担当

田中 速夫 指導主事

### 【内容】

- 1 学力向上に係る研究委嘱校への指導・助言
- 2 埼玉県学力・学習状況調査の結果及び結果の活用について
- 3 埼玉県学力・学習状況調査を活用した県の取組

